

令和 5 年度第 1 回長久手市環境審議会 会議録

(敬称略)

日時	令和 5 年 8 月 24 日 午前 11 時から正午まで
場所	長久手市役所会議室棟会議室 H 及びオンライン併用
出席者	16 人中 13 人出席 会長 岩渕準（学識経験委員） 委員 石橋健一（学識経験委員） 委員 長谷川明子（学識経験委員）（zoom 参加） 委員 伊藤雅一（学識経験委員） 委員 荒川俊史（企業選出委員） 委員 廣田賢一（企業選出委員）（zoom 参加） 委員 辻武史（企業選出委員） 委員 鬼頭和宏（団体選出委員） 委員 高村光一（団体選出委員） 委員 田代はるみ（団体選出委員） 委員 森山輝久（公募委員） 委員 村越生（公募委員） 委員 大須賀詩乃（公募委員） 市（事務局） くらし文化部長 門前 健 環境課長 富田俊晴 環境課長補佐 森 健一 同課環境係長 山田菜美 同課ごみ減量推進係長 大谷悠
欠席者	委員 増田理子（学識経験委員） 委員 鶴見紘二（企業選出委員） 委員 山本崇宏（企業選出委員）
報告事項	1 令和 4 年度事業実績 2 令和 5 年度事業進捗
公開・非公開	公開
傍聴者人数	1 人

会議録 要旨

2 報告事項（１）令和４年度事業実績について （２）令和５年度事業進捗について	
事務局	資料１（１－１）、（１－２）、資料２に基づき説明。

EV バスの導入（N バス）について

委 員	EV バスの導入（N バス）について、BYD 社製のバスの導入ですか。国産車種はありますか。
事務局	確かに国産 EV バスもありますが、今回の EV バス導入に関しては名鉄バスに運行委託を予定しています。導入に向けて、名鉄バスが、バスの運行、車両メンテナンス、充電等について実施する予定であり、車種としては BYD 社製の EV バスとしています。

電力運用の最適化について

委 員	電力消費量について、公表しないと省エネの市民意識も向上しないのではないのでしょうか。
事務局	市役所では、様々な省エネ行動により、電力消費量の削減に取り組んでいます。今後、その手法、成果を公表していきたいと思います。

紙おむつの資源化について

委 員	紙おむつの資源化を考えていますか。
事務局	吸収剤のポリマーの資源化が難しいところですが、県外のおむつメーカーの協力もあり、資源化できた事例もあるため、検討していきたいと思います。
委員長	紙おむつは一般家庭よりも施設から一般廃棄物として排出が多いと思います。国も問題視しており、資源化については、国と某メーカーとが協働研究しています。
委 員	子どもがいる家庭では、紙おむつの排出が多く、ごみの減量が難しいので、ごみ袋の値上げに際しては、紙おむつと分けることを考えています。
事務局	検討したいと思います。

家庭から出るごみ排出量について

委 員	ごみの排出量を随時、公表しないとごみ減量の市民意識も向上しないのではないのでしょうか。
事務局	家庭系ごみの削減量は目標値に達していない状況にあるため、市民の意識づけに取り組んでいきたいと思います。
委 員	剪定枝について資源化を考えてますか。
事務局	近隣市町では瀬戸市が剪定枝の資源化を実施しています。本市の調査結果では剪定枝は燃えるごみに数パーセント程度含まれている現状があり、資源化も検討していきたいと考えています。

委 員	ごみ袋の値上げについて、いつから値上げを考えてますか。 段階的に値上げしてはどうですか。
事務局	現状、本市では様々なごみ排出量削減のための施策を講じています。ごみ袋の値上げについて時期は未定ですが今年度、策定する一般廃棄物処理基本計画の中で1人1日あたりの家庭系もえるごみ排出量の毎年度の目標値を定め今後、ごみ排出量が目標値を超過した場合には排出量の削減のため、ごみ袋の値上げを検討する予定です。 ごみ袋の段階的な値上げでは、小幅に値上げしていくことになり、そのたびに市民は値上げに慣れてしまうことになります。これではごみ減量に効果がないと考えます。 一度で大幅に値段を引き上げることで、効果的なごみ減量をすることができます。
委員長	国はごみ袋有料化についてのマニュアルを作成しています。
委 員	燃えるごみの中の水分含有率を把握してますか。
事務局	尾張東部衛生組合（晴丘センター）では3市全体となりますが、把握しています。
委 員	生ごみの水を切るだけでもごみの削減量の目標値に少しは近づくのではないかと思います。こういうことも市域へ周知していくことが必要だと思います。

ながくて eco チャレンジ 2023

委 員	eco チャレンジ 2023 の取得ポイントについて、市独自のポイントですか。様々な企業が提供しているマネーポイントのようなポイント制度と連携できますか。
事務局	ポイントは市独自のものであり、企業のポイントとは連携していません。

委 員	ポイ捨てや犬フン対策として「ナッジ施策」で人の行動を誘導することにより、効果が期待できると思います。
事務局	調査、検討します。

2 報告事項（2）令和5年度事業進捗について	
事務局	資料3 豊富な生き物が生息する長久手の価値の『見える化』に基づき説明。
委員長	引き続き、希少種の保全に努めてください。

以上